

關 中 林 試 連 情 報

創 刊 号

關東中部林業試験研究機関連絡協議会

昭 和 5 2 年 4 月

創刊のことは

茨城県林業試験場長 萩 庭 勤 五

戦前における公立林業試験研究機関は全国的にみても数機関にすぎなかったが、戦後昭和30年前後にそれぞれの都道府県の林業行政需要にこたえるべく続々と誕生し、すでに20余年を経ている。その間、社会情勢は目まぐるしく変化し、農山村問題だけをとりまても農村の次、三男対策に迫られて、高度経済成長にともなう都市への人口流出と農山村の過疎化現象、さらに最近においては安定経済成長への移行にともなう諸問題等大きく揺れ動きながら進んでいる。林業行政も、そのつと間断のない施策の対応を行ってきたが、公立林業試験研究機関においても種々の困難を克服しながらそれぞれ成果をあげつゝあることは喜ばしい限りである。

しかしながら、本県を例にとってみても 51,000 ha におよぶ平地林やマツノサイセンチュウ問題等行政と試験研究機関が一体になって早急に解決を要する問題もあり、これは他都県においても同様であることと思われる。これを機会に、相互に関連する問題解決のためには協力し合い、また情報交換を密にし、研究員個々が自己の興味に陥ることなく、組織の一員としての良識と自覚のもと、行政の先取りをするような心構えで試験研究を行い、公立林業試験研究機関の存在意義をいかんなく発揮するよう願ってやまない。この会報が今後益々充実され、これら目的達成のための一助となれば幸いである。

2. 各地からの便り

(1) 福島県林業試験場

当場においでになった方は御承知の通り、郡山市の西部部小高い赤松の丘にあり、大変閑静な処である。皆さんが「いい処ですねー」と感心される。ところが昭和52年度から国道4号線のバイパス工事着工が予算上決定し、昨春秋から国道事務所と交渉をかさねてきた場敷地の売買も、本年1月には本決りとなったが、大げさにいえば南北にバイパスが走る為東部に約3ha残り、中に2.4haが買収されるという結果をみた次第である。交通問題に協力することは結構であるが日常試験地確保に悩まされている我々として適地代替地確保が目下の急務であり色々と物色して毎日を送っている。

昭和52年度当初予算として一部増補増を要求している。企画広報室の設置であるが、室長以下3名ということで任務は行政側等需要の整理と情報の収集広報であるが、財政課担当員は人事課とよく相談してと気をもよせる第1回にヤリングであった。

(場長 伊関 治郎)

(2) 群馬県林業試験場

マツノザイセンチュウ発生予防事業

群馬県にはマツノザイセンチュウによる被害は未だ発生していないが、先春秋、栃木県境近くの松林で枯損したものからニセマツノザイセンチュウがかなりの数発見された。これによりほんもののザイセンチュウの侵入近しと判断し、またこれを水際で撃退するという林務部の方針に沿って行政、研究一体となった発生予防事業を計画した。試験場は2、3年以前よりAgなどに対し、伝播の経路や見分け方の研修を実施し、注意を喚起していたが、今回はいよいよ予防組織を作り実行する計画を予算要求した。予算の通り方はきめ

めてしぶかったが、全県下に誘引器を設置し、カミキリを各林業事務所より集めて試験場でザイセンチュウの有無を定期的にしらべ、また定期的に林地を調査して疑いのある枯損木、製材所の材、緑化木などについてセンチュウを調べ発見次第直ちに伐倒剝皮できる態勢を整える方針である。既発生県の御指導をお願いする次第である。

(局長 安盛 博)

(3) . 埼玉県林業試験場

本県の人口も、遂にこの1月をもって500万人を突破し、関東では東京、神奈川に次ぐ人口急増県となりました。

従って、ここ数年来、主として県南部における自動車排ガス、工場煤煙、交通禍等の都市公害が著しく、これらから住民を守り、“緑と清流、豊かな県土”を実現するため、官民一致して努力しているところであります。当场におきましても、本来の林業の試験研究に加えて、44年のもくろみ“環境緑化”、“都市公害”等森林の公益的節面にも力を入れ、この3月には、その一環として 場内で生産した緑化苗木4500本を、県内の学校をはじめ、公共施設に無償配布する予定です。また、特に昨年から、県南部污水処理場から出る汚泥の利用技術開発について、商工部・農林部の各試験場を一丸としたプロジェクトチームを編成して研究に当たっているほか、“光化学スモッグに関する農作物及び樹木に与える影響”、及び農林病虫害に関する情報交換と対策協議等、これ迄見られなかった各専門場所との横の連絡、協力が図られるようになりました。

人事では、昨年末に野村次長が本県では初めての林業技術士の資格を獲得、大いに研究員の意気を示し、また、当场緑化樹部門を担当している高橋造林SPが、この3月に退職されることになりました。約

40年にわたる同氏の千葉県農業行政及び試験研究の発展につくされた功績を称えると共に、これ迄のご苦労に対し深く感謝申し上げる次第です。

(場長 清水 文四郎)

(4) 千葉県林業試験場

「千葉県さくらの会」発足

千葉県の「秋の緑化大会」が昨年11月6日に開催され、その会場で「千葉県さくらの会」が発足しました。

知事が会長、事務局は林務課緑化推進班が担当することになり、私たち場としては品種の改良、管理指導の一部を受持つことになりました。

最近の連絡によると、短期間に予想以上の加入者があり、会費も予定の60%増増加しているとの事です。

この会に先立って、千葉県の推奨品種として 関山 普賢像 一葉 江戸 菊桜の五種類を定めました。

今後、房総の各地に八重桜の団地が出来ますし、私たちも本格的に調査研究することになります。関中林試連の皆様からの情報入手や技術援助等、力を得たいと思っております。

(場長 米林 依三)

(5) 東京都農業試験場五日市分場

(1) たら騒動

伊豆七島の三宅島にイタチ騒動が起っている。ねずみによる農作物の被害に悩む農民が、天敵イタチを導入することにした為めである。近年の観光ブームによって、バードアイランドを看板にする観光側に自然保護側が加わり生態系を破壊し、鳥類に影響があると反対運動が

始った。都は、農業による徹底駆除を指導し駆除費を投入しているが、さっぱり実効がないと農民たちは叫びつづける。平和な島は、導入賛成、反対に分れ、二者択一を迫られる役所側は、テスト的にオスイタナ20頭の放獣を許可した。本格的放獣の可否を判断する立場の都や環境庁は、その科学的データを依頼する仕儀となり、ただ今、当场で食性等を中心にその生態調査を三宅島と八丈島で進めている。新しい種の導入が生態系にどう影響するか。島の話題もにぎやかです。

(分場長 菊池 盛太郎)

(6) 新潟県林業試験場

きのこ関係試験の拡充

当场にあっては、従来いろいろな事情から特産林産関係の試験研究は恒常的に行われていなく、園中アロップ内でもとび離れて弱体でありました。しかし全国的な特産伸長の情勢のなかで、行政需要の高まりもあり、きのこ関係を重点に昭和52年度から施設々屋と併せ試験にとり組むこととしました。施設は52~53の両年度で培養試験舎RC129㎡、栽培舎S33㎡、工費2,325万円ではかに研究費が新規予算化の見込です(52.2月査定済)。きのこ、ひうたけ、なめこ等を対象に、既に先を進んでおられる各場、前に肩を並べるまでには到り得ませんが鋭意研究をすすめて行く所存です。

場員の研修派遣

職員の資質向上をはかるため当场でも研修派遣に力をつけているが、今年度は環境保全分析研修(県研R工研)、技術会議短期集合研修(理論系)、国立林試受託研修に各1名を受研せしめた。なお42~51の10年間では、国立林試9(農林省依頼研修5、林試受託研修4)、新潟大学1、その他2計12名である。

(場長 山 善夫)

(7) 長野県林業指導所

昭和51年度林業士22名が誕生

去る2月14日開催された「長野県林業士認定委員会」において、22名の研修生が今年度新たに林業士として認定された。

林業士制度は、県が積極的に「人づくり組織づくり」をすすめるため、国庫補助の林業教室、林業技術交換研修等を更に県単により補完し、第1年次の林業教室、第2年次の林業ゼミナール、第3年次山村青年指導者研修を3か年間にわたり実施し、この全課程の修了者を県の認定委員会が審査して、認定された者に「林業士」の称号が与えられる。

当指導所は、長野県の林業技術センターとして実用的試験研究を行うとともに、研究成果の普及ならびに林業技術者の育成にあたってあり、林業士の養成研修も当所が担当している。

今回誕生した林業士は、20歳代の若人が多く、地域社会の林業振興のため、林業タレントのリーダーとして又みどり産業の指導者としてその活躍が大いに期待されている。

(所長 今井 元政)

(8) 静岡県林業試験場

天竜林業に関する文献目録

温故知新の故事にならい、古い歴史をもっている天竜林業の過去の記録や、いろいろな分野からの研究報告や調査報告などを収集するため、当场では昭和51年度から3か年計画で、天竜林業に関する文献目録の作成にとりかかっている。

山村問題の検討

本県では、昨年4月、住みよい山村づくりをめざして、県内を東中西の3ブロックに区分し、山村地域で抱えている産業基盤、交通通信、生

活環境，国土保全，コミュニティ，地域等の問題を調査検討し，その対策を樹立するため山村問題研究会が発足し，当時からチームに参加した。そして昨年末，村づくり運動の展開，山村整備プログラムの策定，地域別の拠点施設など，9項目からなる総合的な提言と各部門別の推進方向を盛り込んだ報告書を提出した。今後，この成果が効率的に生かされることが期待される。

採種園におけるスギカサガの防除法について

本県における精英樹採種園からの種子供給量は，現在スギでは必要量の50%，ヒノキでは20%に達しており，採種園における結果の良否は苗木生産と左右する大きな因子となりつつある。

ここ2・3年，採種園でスギカサガの被害が目立っている。昨秋精英樹42クローンについて調査したところ，球果の被害率が多いものでは60%をこす例もみられ，平均で13%であった。これに対して6月にスミチオン乳剤500倍液を3回散布した結果は平均5%の被害に止まった。徳島林試では200倍液の5月上旬1回散布で有効だったとしているが，52年度は本県における最適の，しかも他への悪影響の少ない方法を確かめる計画である。

（場長 村井 静馬）

(9). 岐阜県寒冷地林業試験場

カモシカ被害防止試験打合の初会議が本曾分場において開催さる

四面山に囲まれた人口わずか5千名という静かな飛騨の山村，益田郡小坂町に突然，降って湧いたように出始めたカモシカ被害は，昭和48年度には，実損面積185haに達し，地域造林者苦悩のタネとなった。

これに対応するため，林野庁，環境庁ならびに県当局などにより，防護柵，忌避剤など被害防止に数多くの試みがなされている。

云る2月2日、本管分局長をはじめ担当官各位の尽力により、被害防止試験打合会議が開催され、林業試験場上田科長は大多数の参案を得て、有意裡に終会することができたことは誠に同慶にたえない。

ともすると関係各機関まちまちの方針で進められている被害対策にぞしりを受けかねぬ態にあるとき、タイムリーに対策試験に指針を打ち出した意義は大きい。これが被害対策協議会発足の胎動ともなれば幸いである。

(場長 戸原 源吾)

(10). 愛知県林業試験場

愛知県では、古くから生活に深いかゝりあいをもつ「川」が地域の発展に果たす役割りを再評価し、流域毎の地域作りがすすめられているが、その中で森林は特に地域の発展を支配する「水」を確保するうえで重要な役割を担うものであるという理解が深まっている。

県内に水源地帯をもつ大河川として、矢作川、豊川があるが、この流域内の上流部と下流部の全市町村は県と協力し、互に金を持寄って基金を創設し、よい山を作るための援助などをしていこうという話が着々とすすんでいる。

今迄平県の試験研究は、林業生産の増大に関する部門を主体にすすめてきたが、このような背景に加えて林業の担手である林業経営の改善を図っていくことが此域の緊急課題となっているので、新年度から理水、経営部門にも取り組んでいく予定である。

なお、少ない人員、予算の中でのやりくりで、前途多難であるが先進県の知恵も拝借してすすめていきたいのでよろしくお願い致します。

(場長 岩間 義男)

関中林試連専門部会に関するアンケート結果

A. 専門部会の性格(主目的)とすべきもの

項 目 \ 内 訳	機関数の計	1 位	2 位	3 位
研究員相互の親睦	6	1	1	4
研究員の習熟を広める機会	10	1	4	5
共同研究の推進	8	1	7	0
国補, 研究の拡充の推進	3	0	2	1
研究員相互の研鑽	10	4	2	4
情報知見の交換	12	10	1	1
研究発表	0	0	0	0
そ の 他	1	0	0	1

B. 現在の専門部会に対する参加状況

全16機関参加	造林, 森林保護, 特産, 防災立地
15 〃	環境保全(不参加 岐阜(寒))
12 〃	経営(不参加 群馬, 神奈川, 山梨, 富山)
8 〃	機械加工(不参加 群馬, 茨城, 千葉, 東京, 神奈川, 静岡, 愛知, 岐阜(寒))

○専門部会の改変について

項 目 \ 部 会	造林	環境保全	森林保護	特産	防災立地	機械加工	経営
現状維持	2	4	16	15	5	5	12
現状維持および内容変更	1	2					
廃止					2	1	1
廃止および内容変更		1					
廃止および分割					1		
当分休会							1

項 目	部 会	造 杯	環境保全	森林保護	特 産	防災立地	機械加工	経 営
内容変更		4	4			4		
内容変更および分割		3					1	
内容変更および合併			1					
分 割		5				1	3	
分割および合併						1		
合 併		1	2		1	2		
不 明			1				1	1
回答なし			1				5	1

C、部会の年間開催回数

全機関 年 1 回

D、部会の開催日数

全機関 1泊2日

E、部会費（現在は1部会あたり15,000円）

項 目	内 訳	機関数	内 訳
部会数(改変するとしても)部会費は現状のままでする。		11	福島,茨城,栃木,群馬,埼玉,千葉,東京,神奈川,山梨,新潟,富山
部会費をへらしてもよいから部会数を増加させる		1	長野
部会数をへらしてもよいから部会費を増額する		2	静岡,岐阜(セ)
全都県に参加しない部会は部会費を減額する		3	静岡,岐阜(セ),岐阜(寒)
部会の自由な活動,再編成,結成等を防げるから部会費は全廃する。		1	愛知
返事を保留する		0	

現状維持が過半数を占めたが改変希望も5機関あった。

Ｆ、関中国公林試協（国立林試調査部長が招集するもの）の各研究部会との関連について

項 目	内 訳	機関数	内 訳
互に異った性格のものだから現状の ような二本立てでよい。		9	栃木、千葉、埼玉、東京、富山 長野、静岡、岐阜（セ）、茨城
内容が重複するものは、いずれか一方を 廃止または併合とする。		3	山梨、新潟、愛知
内容が重複するものは、開催期間を長くし開催とする		2	群馬、岐阜（寒）
推進会議関係の研究会は全部廃止する。		1	神奈川
返事を保留する		1	福島

現状維持と何等かの形での改変希望意見が9：7の割合であった。

関中林試連専門部会再編成案

専門部会と主な包括分野

部 会 名	主 な 包 括 分 野
1 育 種	育種、種苗、緑化不増殖
2 造 林	土壌肥料、育林、気象災害
3 環境保全	公害、緑化工、防災、理水、公益的機能
4 保 護	樹病、害虫、木材防虫防腐、鳥獣
5 特用林産	食用菌類、特用樹木（クリ、キリ、ウルシ、タケ等）、山菜
6 機械加工	林業機械、木材加工
7 経 営	土地利用、経営経済、森林施業

「部会を開くにあたっては、包括分野全般に亘るか、その中の何れかの
項目に重点を置くかは部会長の権限とする」との趣旨の条文を来年度の
総会のさい会則に条文化することに決定。

注）、この案は昭和51年11月1日に委員会を審議され、昭和52年夏の総会に提案される筈。

関 中 林 試 験 場 所 一 覧

昭和52年3月現在

名 稱	場 長 名	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
福島県林業試験場	伊関 治郎	963-01	郡山市安積町成田 西島坂-1	0294(45) 2160	委 員
茨城県林業試験場	宮田 英二 萩庭勤五(併用)	319-21	那珂郡那珂町戸 4692	02929(8) 0257	会 長
栃木県林業センター	工橋 茂行	321-22	宇都宮市小池町280	0286(69)2211	林務部会長
群馬県林業試験場	安盛 博	370-35	北群馬郡榛東村 大字新井2135	02737(3) 2300	造林部会長
埼玉県林業試験場	清水文四郎	369-21	大里郡寄居町鉾形 2609	0485(8) 1533	委 員
千葉県林業試験場	米林 俵三	289-12	山武郡山武町通谷 1887-1	04758(8) 0505	特産部会長
東京都農業試験 場五日市分場	菊池盛太郎	190-01	西多摩郡五日市町 戸倉853	0425(96) 0218	防災立地部 会長
神奈川県林業試 験場	角田 賢造	243-01	厚木市七沢日向原 657	0462(48) 0321	監 事
新潟県林業試験場	丸山 善夫	958	岩船郡朝日村大字鶴 渡路2249-5	025403 171	環境保全部 会長
富山県林業試験場	岡本 恒久	930-13	中新川郡立山町吉峯	0764(83) 1511	委 員
山梨県林業試験場	山内 政人	400	甲府市岩窪町ツツ か崎688	0552(53) 5811	委 員
長野県林業指導所	今井 元政	399-64	塩尻市大字宗賀 括狭ヶ原73	02635(2) 0600	副 会 長
静岡県林業試験場	杉井 静馬	430	浜北市根堅2542 08	05392(5) 3121	経営部会長
愛知県林業試験場	岩間 義男	441-17	南設楽郡鳳来町 上音田	05363(4) 0321	監 事
岐阜県林業センター	秋庭 守男	501-37	美濃市曾代128 01	05753(3) 2585	機械加工 部会長
岐阜県寒冷地林 業試験場	石原 源吾	506	高山市山田町 155401	0577(33) 5252	委 員